

山崎 勲 君 来週のパナー公式訪問が無事終了よう御協力お願いします。100%出席
小田登志男君 ニコニコBOXのペースが大変落ちております。決して自分のフトコロには入
れませんので皆様多大な御協力を伏してお願い申し上げます。
斎藤 正 君 桜井先生有難うございます。日ごろの取組みに敬意を表します。
久保 博 君 先々週の暑さが嘘の様です。やうやく秋の気配、今日は十五夜です。
佐藤啓策君 今日は早退させて頂きます。
米山忠俊君 待望の熱い夏から涼しい秋になりましたが、名古屋近畿地域を中心に水害が大変
のようです。いつも自然にはかなわなくなすがままです。思うようには中々いか
ないようで残念です。
梨本清一君 桜井先生お元気でご活躍、お喜び申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いし
ます。
馬場直次郎君 本日は桜井先生どうも有難うございました。青少年の問題についてお話が聞く
ことが出来ますので期待して拝ちょうしたいと思っています。

* 8月のコメント賞は外山幹事でした

* 本日の食事：カマス塩焼き、ソルベ、お造り、うどん、お新香

新入会員 プロフィール：

氏 名 青木 省一

生年月日 昭和14年8月31日

会 社 名 (株) アオテツ

役 職 名 代表取締役

会 社 住 所 三条市東本成寺27-29

T E L 34-6711 F A X 34-7086

自 宅 住 所 三条市東三条1-13-7

T E L 32-2423



家 族 構 成 征子(妻) 則之(長男) 香織(長男の妻) 佑太郎(孫) 睦子(長女) ショ(母)

卓 話： 「足もとを見つめて願うもの」 桜井 昭様



1 学びから逃げる子ども

「やっと高校に入って2カ月なのに“学校に行きたくない”と言っ
て、朝は起きてこない。夜遊びはする。携帯電話は1万円以上なんで
す。」と父親が訴えるように見えました。

中学生の父親は「夜中まで電話をして、テレビや漫画、ファッショ
ン雑誌、化粧に、机に向かうことなんてないのです。」と娘の姿に迷
いを感じながら相談する父、うつむく母。

「友だちが気になってしょうがないのです。自分が仲間はずれにならないか、友だちに何か言われているのでないか、と何もかも心配で睡眠も食事も不安定なんです。」小学生の娘の生活を不安に感じての相談です。

子どもの生活に「学び」がありません。学びから逃げているのです。子どもは生活破壊を起こし、迷走しています。

2 学びが「その子の生活」をつくる

学校に行けない子ども達が多くなりました。5月の祭りが終わって間もなくのことでした。母親に伴われた中学2年生の女子生徒がやって来ました。鼻水をダラダラたらし、痩せ細り、生活のエネルギーを感じさせないのです。その女子生徒が小さな声でうつむきながら「勉強したい」と言うのです。その日から雨の日も雪の日も通い続け高校に進学、友達をつくって元気にやっています。

自分の部屋から出れなかった中学2年生。やがて家から外に出られるようになったとき言ったのです。「勉強して高校、大学に行きたい。そうして社会のために働きたい。」と。学びが始まり、笑顔を取り戻し、高校へと進みました。

学ぶことを求め、学ぶことの出来る子どもは生活を自分のものにし、目標を持つことができます。

不登校の子どもは心が弱いという見方もありますが、学ぶことに心を寄せ、目標を見い出していきます。そして、その子らしい充実した生活をつくりだしていくことを教えてくれます。

3 子どもが学校に期待しているもの

東京の小学校6年生の子どもが夏休みの終わり近くなったとき「学校が始まると友達に会えるのはうれしい。でも、学校が始まると勉強できなくなるのでいやだ。」と話していました。

一瞬間違っているのではないかと疑いました。学校が始まると勉強が出来なくなるというのは反対のことを言っているのではないかと。しかし、それは学校は勉強を教えてくれない。学校は勉強するところでなくなっている。ということを端的に子どもが語ったことでした。

新潟県の「青少年の生活実態と意識の状況」の調査結果（平成11年）によると、

（1）勉強や授業が分らない児童・生徒

高校生 45% 小中学生 35%

（2）学校生活に満足している理由

・親しい友人がいる（%）

高校82.4 中学83.0 小学72.0

・クラブ活動が楽しい（%）

高校36.6 中学51.6 小学65.8

・勉強や授業が楽しい（%）